



No.8 令和3年12月20日(月) 2021-8号 (隔週発行)

発行責任者: 松江総合医療専門学校理事長 澤田勝寛

[isonare@ka2.so-net.ne.jp](mailto:isonare@ka2.so-net.ne.jp) 毎月第2、4月曜発行 令和3年(2021年)9月13日創刊

## ◆今年最後の「医の道」です

今年の最終号となりました。最終学年の皆さんはいよいよ国試です。医療は専門職でありそれぞれが国家資格を必要とするため、国試は避けては通れない道です。

私が医師国家試験を受けたのは、昭和53年。今から43年前です。不勉強で国試対策の出遅れに気づいたのが国試の3か月ほど前。それからほう必死でした。特に最後の1カ月は1日15時間勉強しました。今までの人生であれほど勉強したことはありません。そのかいあって何とかギリギリで合格し、医師免許を取得することができたのです。

焦る気持ちは分かりますが、時間はまだ十分あります。最後の最後まであきらめず、1点でも2点でも増やすように頑張ってください。

世界各地で急速に広がっているオミクロン株は、今のところ日本では水際対策が奏功したのか、拡大傾向になく、コロナの新規感染者も200人前後で推移しています。

一方欧米では感染拡大が続いており、イギリスでは1日の新規感染者が9万人を越え、その8割がオミクロン株と報告されています。

日本はワクチン2回接種率が79%と先進国のトップクラスで、12月からは医療関係者を中心に3回目接種が始まり、年明けからは順次接種対象を広げていくようです。

ワクチンと治療薬でいずれ収束するとは思いますが、それまでは今まで通り、密を避け、マスクと手洗いの励行を心がけるようにしましょう。

それでは、皆さん、  
体に気をつけて良いお年をお迎えください。

## ◆喜ばれることをしていると人生が開ける

人から物事を頼まれやすい明るい顔をしていると、人生はそこから開けてきます。自分で自分を磨く必要はありません。磨く暇があれば頼まれやすい人になる方がいいのです。

うれしい、楽しい、幸せ、愛している、大好き、ありがとう、ついで、という言葉や言葉を常に自分の口から出てくるようにしていると、人相が変わり頼まれやすい顔になります。

幸せになる条件は、宇宙を敵にまわさないこと、宇宙を味方につけること、神を見方につけることの三つです。

神はきれいな人、心のきれいな人、身の回りが整理整頓された人が好きだそうです。断捨離をすると何となくいいことが起こる感じがします。

何事に対しても、いつも念をいれることも大切です。念とは今の心と書きます。今、心を込めて一生懸命することです。

幸せとはなるものでも、つかむものでもなく、ただ感じるものです。チルチルミチルも「青い鳥」を自分の家に見つけたのです。辛い、悲しい、つまらない、いやだ、嫌いだ、疲れたといった、不平・不満・グチ泣き言・悪口・文句といったと頼まれごとをされにくい顔になります。

嬉しい、ありがとう、楽しい、幸せ、大好き、ついで、という喜びの言葉をずっと言っていると、ありがとうと言ったときの笑顔が板についてきます。そうすると神や宇宙から支援を得られます。

どうしたら人に喜んでもらえるかを考えると、よく気がつく人になります。努力してみてください。

## ◆処世のおきて ゲーテ

気持ちのよい生活を作ろうと思うなら

済んだことをよくよせぬこと

滅多なことに腹をたてぬこと

いつも現在を楽しむこと

とりわけ人を憎まぬこと

未来を神にまかせること

良いお年を  
お迎え下さい

